

平成10年9月24日

加藤一敏豊島区長

今期限りで勇退の表明

－平成10年東京都豊島区議会第3回定例会－

加藤一敏豊島区長(72)は24日、自由民主党 伊原隆議員の一般質問に対し、来春予定の区長選挙には立候補しない旨表明した。

加藤区長は、大正15年生まれ。豊島区助役等を経て、昭和62年の統一地方選挙で自民、公明、社会、民社、社民連の推薦で初当選。現在3期目。

詳細：総務課長

平成十年東京都豊島区議会第三回定例会

自由民主党 伊原議員からの質問に対して

加藤一敏豊島区長の答弁

最後に、私自身の進退に関するご質問に対しまして、謹んでお答え申し上げます。

非力な私が、区民の皆様のご信任を戴き、昭和六十二年四月以来、三期十一年半にわたりました、豊島区という一自治体・その区長という重要な職を勤めさせていただいております。

これまで大過なく職責を果たすことができましたのは、ひとえに、豊島区議会の皆様の温かいご理解と力強いご指導の賜でございます。ここにあらためて深甚なる敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げる次第でございます。

私は、二つの理由で次期区長選挙には立候補いたしません。今限りで勇退いたしたいと存じます。

一つは、年齢と多選です。個人差はあると存じますが、古希を過ぎますと気力、体力とも明らかに老衰してまいります。

また、権力は10年で腐る、雨水も10年で濁ると申します。傑出した政治家は別といたしまして、自治体の首長は、三選が限度というのが私のかねてからの持論でございます。

二つ目の理由は、平成十二年度という区長選挙の日から一年後の歴史的な転換期を控えます。厳しい財政環境の中、新しい基礎的自治体としての胎出は、区民の皆様が選ぶ新鮮にして強力なニューリーダーに委ねることが、区民の幸福と区政の発展につながることを確信するからでございます。

以上申し上げました、主として二つの理由によりまして、次期区長選挙には立候補いたしません。

なお、当然のことでございますが、残る半年余りの任期中は、誠心誠意、全力投球で職務と責任を果たしてまいりますことを控誓い申し上げます。伊原議員のご質問に対する答弁を終わります。